

仙台高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	経営工学	
科目基礎情報							
科目番号	0178			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	機械システム工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	1		
教科書/教材	生産マネジメント入門Ⅰ 藤本隆宏 日本経済新聞社						
担当教員	遠藤 昇						
到達目標							
経営工学における工業生産管理について、その理論を中心とした学習と共に、実際の企業で行われている事例について学び、生産管理の各要素、実際の生産管理について理解することを到達目標とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 生産システムの基礎	論理的に説明できる。			理解できる。		理解が不足している。	
評価項目2 競争力ファクターの管理	論理的に説明できる。			理解できる。		理解が不足している。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 3 社会的課題の解決に向けて自ら考え取り組むための高いエンジニアリングデザイン能力を身に付けること。JABEE B2 技術が社会と自然に及ぼす影響・効果を理解し、技術者として責任を持って行動できる能力							
教育方法等							
概要	生産管理とは、生産活動を計画・組織・統制することであり、その目的は「要求される品質の製品を、要求される時期に、要求量だけを、効率的に生産すること」である。大量生産、大量消費から顧客志向への市場変化の中でその管理のプロセスも変わりつつある。ここでは、生産システムの基礎と競争力ファクターの管理を学ぶ。						
授業の進め方・方法	教科書ならびにパワーポイント教材を用いて授業を行う。適宜、レポート提出を行う。 予習：毎回の授業前までに、授業で行う内容と意義を 考えて整理しておくこと。 復習：毎回の授業後に、授業で学んだことを振り返り、今後へ活かす方法を考えること。						
注意点							
授業計画							
前期		週	授業内容			週ごとの到達目標	
	1stQ	1週	ガイダンス			経営に関する生産活動の概要を理解できる。	
		2週	生産システムの基礎 1			競争力とシステム、開発・生産のプロセス分析を理解できる。	
		3週	生産システムの基礎 2			製品と肯定の歴史分析を理解できる。	
		4週	競争力ファクターの管理 1			競争力とその構成要素を理解できる。	
		5週	競争力ファクターの管理 2			コスト・生産性の管理と改善を理解できる。	
		6週	競争力ファクターの管理 3			納期と工程管理、品質とその管理・改善を理解できる。	
		7週	競争力ファクターの管理 4			フレキシビリティ、生産戦略を理解できる。	
		8週					
	2ndQ	9週					
		10週					
		11週					
		12週					
		13週					
		14週					
		15週					
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	レポート	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	0	0	0	80
基礎的能力	50	0	0	0	0	0	50
専門的能力	30	0	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0